

# あきた労福協

2018年3月1日

NO. 121

発行所／秋田県労働福祉協議会  
 発行責任者 高橋暢嘉  
 秋田市中通6丁目7-36労館内  
 Tel 018-833-1875 · Fax 018-833-0506  
 ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

## 『勤労者福祉の拡充・強化に関する要請書』を県に提出

2月9日（金）、地方の課題や県労福協・福祉事業団体の要求をまとめた要請書を策定し、黒崎会長から水澤産業労働部長に要請書を提出した。

### 要請内容の骨子

1. 秋田県労働福祉協議会及び労働福祉事業団体の周知
2. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生策、避難者・被災者への生活支援
3. 格差・貧困社会の是正、セーフティネット強化
4. 暮らしの総合支援（ライフサポート）事業運営への理解と協力
5. 消費者行政の充実強化
6. 中小企業勤労者の福祉格差の是正
7. チャリティゴルフ大会への協力
8. メーデー協賛金への協力



水澤産業労働部長（左）に  
要請書を提出する黒崎会長（右）



要請には、秋田県から水澤産業労働部長他3名、秋田県労福協から黒崎会長他5名が出席した。

黒崎会長は、日頃の県労福協における支援と協力に対して感謝の意を表した。続いて高橋事務局長より勤労者福祉の拡充・強化に向けた要請内容を説明し、平成30年度予算編成及び県政への反映を求めた。要請8項目について意見交換会を行い終了した。なお、要請に対する回答は3月末に予定しています。

### ・・・地区労福協活動・・・横手平鹿地区「雪像づくり」



雪の芸術「秋田新幹線 こまち」「大雪にまけるな賞」を受賞

### 「LSCあきた」チラシ配布



秋田県労働会館（フォーラム秋田）にて「税務署確定申告」が行われている。開催期間は、2月16日～3月15日の1ヶ月間である。期間中、申告に訪れた人たちに「LSCあきた」のチラシ2,000枚を配布する。



2月11日（日）雪像づくりを行った。今年は、県労福協から石井推進役も応援にかけつけた。あいにく霧（みぞれ）交じりの悪天候であったが、20名が参加し「秋田新幹線こまち」が完成した。このイベントは、「かまくら」や「梵天」とともに2月15日（木）～16日（金）に開催され、市民や観光客の目を楽しませている。横手平鹿地区労福協は、横手市観光協会主催「雪の芸術（雪像作り）」に地域との繋がりを強めたいと毎年参加、雪像を制作・出品している。



確定申告に訪れた長蛇の列

## ライフサポートセンターあきた 相談事例 Q&A 「借入金が膨らみ生活苦」

**Q**

年金生活者ですが、借入金が多くなり生活維持が困難になっている。

年金額は、夫婦合わせて34万円です（2か月分）。現在の借入金額は、5社合わせて190万円で毎月7万円近く返済している。その他に時節柄灯油代などもかかり、苦しい生活が続いている。その他に食費は毎月7万～8万円掛かります。自宅の土地は妻名義ですが、土地を担保に借入れすることが出来るでしょうか？

**A**

宅地は土地の評価価格が安定している地域なので、売却により借入金を返済することは出来ると思いますが、毎日の食費にかかる費用をおさえるなど毎月の支出を見直し、生活の立て直しをはかってみるのも一つの方法だと思います。

借入については、最寄りの「東北労働金庫の営業店」、「弁護士会・サラ金クレジット相談センター」等で相談を受けています。

◆ 東北ろうきんフリーダイヤル → 0120-1919-62

（他社ローンの借換えにも労金を）

◆ 弁護士・サラ金クレジット相談センター

→ 018-896-5599



ATM手数料が無料で、ローンも気軽に相談できる！こんなに寄り添ってくれるのは、  
営利を目的にしない金融機関だからかも。  
けっこう、いいよね。

だから、私も、ろうきん。

あなたと  
わかちあう  
次の一步

R ろうきん

ZENROSAI NEWS  
【051WB028】



全労済は保障の生協。  
これからも、もっと大きく。

資料請求・お見積のご依頼は

共済ショップ秋田店 TEL 018-824-6031

共済  
ショッピング  
時間  
月曜～金曜日 9:00～17:00  
土曜日 10:00～16:00

全労済は、営利を目的しない保障の生協として  
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり  
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い  
いただいた組合員になれば、各種共済をご利用  
いただけます。

全労済秋田推進本部（秋田県労働者共済生活協同組合）



## 編集後記

雪像づくりは、公園内の雪を除雪機を使って積み上げ踏み固める下準備作業（6日）から始まる。本番は多くの仲間が参加、彫刻と雪の積み上げを繰り返し、「あきたこまち」号が見事完成。その後80cmを超える大雪のためうずもれてしまった…。その結果はどうか「大雪に負けるな賞」を受賞した。期間中は、雪像保持のため連日管理をするという。まさに労福協・連合地協の連帯・団結の力でできた雪の結晶である。2018春闘勝利への弾みとしていきたい。（J・I）